

「英語科」学習指導案

1. 日時 平成26年10月
2. 場所 教室
3. 学部・学年・組 中学部 第2学年
4. 単元名 「Unit4 Homestay in the United States」
5. 単元目標
 - ・ さくらが夏休みにアメリカにホームステイに行った際のトラブルとその解決方法の糸口を知ることを通じ「コミュニケーション」の大切さ、すばらしさ、むずかしさなどについて考える。
 - ・ 助動詞(will/ must/must not)、have to を用いた基本的な英文の意味や構造を理解する。
6. 生徒観 略
7. 教材観 ICT 機器（パワーポイント・プロジェクター等）を活用し、画像等を用いた視覚的に分かり、イメージしやすい教材作りを行っている。教科書内容を通し、日常生活に必要な知識や技能と結びつけ、聞こえないことからくる情報不足を補うようにしている。英語の学習しながら、日本語の語彙も増やしていくことをめざしている。
8. 指導観 英語の音を耳で聞くことは困難であるので、できるだけ英単語にカナで発音を表記し、近い音で生徒一人一人が自分なりの発音で英語の音を発音できる力を育てていきたい。「聴覚に障がいがあっても英語はできる。」という自信につながるようになってほしいと考えている。授業では、教員と生徒との一方通行的な授業にならないように留意し、できるだけ生徒に自分の意見等を発表する機会を作り、生徒同士でコミュニケーションできる環境作りをしている。授業の中でコミュニケーションスキルを身につけることができるようにしている。
9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・ ペアやグループで音読したり、感想や自分の考えを述べ合ったりする活動に積極的に取り組むことができる。 ・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・ 他の生徒の発言を聞くことができる。 ・ 自分の意見や考えを表現することができる。	・ Reading ・ Writing ・ Speaking をうまく授業の中で活用することができる。	・ 助動詞を用いた文の構造と意味を理解している。 ・ さくらのホームステイ生活を通して、アメリカの一般的な生活について知ることができる。

10. 単元の指導と評価の計画（全5時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	1	ホームステイのガイドブック	○			○
	2	ベッドメイキングについてのさくらとホストマザーの対話	○			○
第二次	①	ホームステイでの悩み事・相談・報告する		○		○
	2	ホームステイでの困りごと・相談・報告する		○		○
第三次	1	助動詞を使った文の意味と語順について			○	○

11. 本時の展開

- (1) 本時の目標
- ・ 誠意をこめて「率直かつ丁寧に」自分の意思を相手に伝えることの大切さを知る。
 - ・ 助動詞 **must** の用法を理解し、定着を図る。

- (2) 本時の評価規準
- ・ 相談とそれに対する助言及び結果を読んで内容を理解できる。
 - ・ 助動詞 **must** を用いた文の形・意味・用法を理解し表現する。

- (3) 本時で扱う教材・教具

使用図書は、教科書：「NEW HORIZON English Course 2」 東京書籍

- (4) 児童生徒の実態と本時の目標 略

- (5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準・評価方法
10分 導入	・ 前時に学習した助動詞 will の基本文の音読 ・ must の基本文の導入	・ 前時に学習した will を用いた基本例文を提示し、前時の内容を想起するのを支援する。 ・ must を含む英文をパワーポイントで画像とともに提示する。繰り返し英文を音読することで、must のイメージの意識づけをする	

3 5 分 展 開	・グループ内で海外のホームステイで想定されるトラブルについて考え、その時の対処方法についても考える。 ・本文内容を DVD で映像と文字で確認する。 ・新出単語の発音と意味確認 ・本文の音読 ・本文内容の理解 - 助動詞 must の用法を理解する ・個人・ペア・グループで音読練習	・個人で考え、グループで意見を出し合っているかを観察し、必要に応じて支援する。 ・一人の生徒だけの発言にならないように注意する。 ・内容に関する質問を提示し、どこに注目して DVD を見たらよいのかを指導する。本文内容をイメージできるようにする。 ・グループで話し合い発表する ・画像を用いたパワーポイントで新出単語の発音と意味を提示し、イメージしやすくする。 ・本文内容をできるだけ大きな声を出して音読できるようにする。 ・助動詞 must を画像と例文を提示し、指導する。 ・手話を用い、音読練習する。グループで練習することで、相手にも伝わるよう音読するように促す。	・グループ活動に参加し、他の生徒の意見や考えを聞くことができる。 ・自分の意見や考えも相手に伝わるように発言することができる。 ・大きな声を出せている。 ・相手に伝わるように音読ができる。
5 分 ま と め	must 基本本文の練習問題 must を用いた英作文	・身の回りにある事柄を説明した例文をした練習問題を提示し、生活の中で身近になる表現として定着するように支援する。	・ must を用いた簡単な英文を読める。 ・ must を用いた簡単な英文が書ける。

(6) 教室配置等 略

◇当該教科・領域の年間指導計画 略